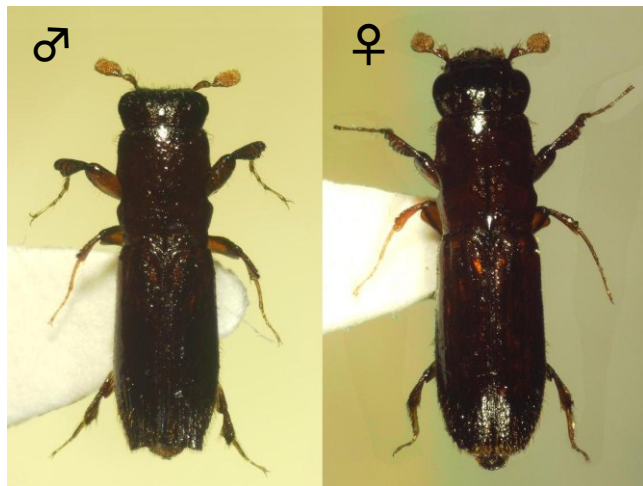


カシノナガキクイムシ

(Ambrosia beetle *Platypus quercivorus*)



カシノナガキクイムシ成虫



被害を受けた木の根元に溜まった木屑

生態

ブナ科の木が初夏～初秋に萎れて枯死するブナ科樹木萎凋病(ナラ枯れ)の原因昆虫で、体長4～5mmの小さな甲虫です。ブナ科の木に坑道を掘り、坑道内で育てた菌類(酵母)を食べて暮らしています。フェロモンを使って1本の木に大量の虫が集まって加害する性質があり、大量の虫に加害された木は、多くの場合、枯死します。

対策

森の木を全滅させる害虫ではなく、10年程度で被害は終息します。被害が終息するのを待つ場合も多いですが、御神木や枯れた場合に危険が生じる木などは個別に保護します。保護にはシート等で木を覆って虫の加害を防ぐのが有効です。また、最近ではペットボトルを利用した捕獲装置も開発し、多くの現場で用いられています。実施に当たっては専門家の指導を受けてください。